

発言No.

15

受付No.

15

令和 5年 11月 22日

10時 03分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 5 番

氏名 沖田真治

答弁を求める者

市長

教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 人口減少社会における自治会、まちづくり組織のあり方について

人口減少、高齢社会を迎え地域組織も疲弊している。全国的に各地域の自治会、町内会組織は高度成長期につくられた組織で制度がそのまま存続している場合が多く、役員の高齢化、次世代の担い手不足により中山間地では草刈りなどの維持活動もままならない状況。都市部では住民は地域への関心が薄れ、組織の存在意義や必要性が問われている。自治会、町内会組織は準行政的な役割も果たしている組織であり市にとって必要な組織であると思っており、市として財政的な支援以外にも指導や助言の必要があると思い以下の通り質問する。

(1) 自治会、町内会について

- ① 状況を踏まえ各地区の自治会、町内会組織に期待する役割と組織のために今後、取り組むべきことは何か伺う。
- ② 世帯の減少や高齢化により活動が困難になった町内から町内同士の合併、あるいは解散の相談を受けた場合の対応について伺う。
- ③ 自治会、町内会によっては自治会館、集会所などの建物を保有、管理している。今後も世帯の減少は続くとみられ維持管理するための会費収入の減少、建物の多くは昭和に建てられた物が多く、老朽化による解体などが予想され住民のみで解決するのは難しいと考えるが市として今後の対応について伺う。

(2) 地区まちづくり推進委員会について

- ① 地区まちづくり推進委員会は設立が早い団体は平成 21 年度より設立され令和5年時点で38団体設立率82.3%となっている。総合振興計画でも令和7年度までに設立率90%を目標に組織化を進めている理由について伺う。
- ② 自治会、町内会とまちづくり組織との棲み分け、まちづくり組織の期待する役割について伺う